

# わかくさ

子どもの成長を見守ります。四万十市下田の若草園

## 児童養護施設 若草園

トップページ

運営方針

施設案内

広報誌

決算報告

### Information

児童養護施設 若草園

〒787-0155

高知県四万十市下田2211

TEL.0880-33-0247

IP.050-3344-8850

FAX.0880-33-0518



児童養護施設 若草園のホームページへようこそ。

私たちの社会生活には思いがけない出来事がたくさん起こります。若草園で暮らす子どもたちは家族の交通事故や各種の災害、親の病気入院や離婚等々、様々な事情から家族と離れて暮らすことを余儀なくされた子どもたちです。また、不幸な家族の人間関係から虐待を受けた子どもたちや、発達に課題を抱えた子どもたちも共に生活しています。

私たちは児童相談所を通して子どもたちを預かり、一人ひとりをありのままに受容し、そのかけがえない命を守り、育てることを使命としています。

若草園ホームページが完成しました。アドレスは、[wakakusaen.holy.jp](http://wakakusaen.holy.jp)です。「下田の若草園」で検索してみてください。決算書、機関誌も掲載されております。

## 巻頭言



理事長 小椋茂昭

(若草園児童による似顔絵)

本年7月1日で若草園は創設満58年となりました。西久子初代園長からはじまった歴史の中で、私が理事長に就任して16年間、青木浩園長、杳野一誠園長、福留久美園長と共に地域の方々、学校など関係機関の深いご理解とご協力と合わせ、30余名の職員集団の献身的な努力で、生きる力の核となる愛と人間性を身につけた子ども達を社会に送り出してまいりました。

ふり返りますとこの間「地域に開かれ、地域の方々に支えられた施設運営」を目ざして発足した若草園後援会は「若草園を支える会」として発展的に整備され、地域との強い絆で結ばれています。

また園舎改築では高知県をはじめ関係機関のご理解のもと、子ども達の個性を尊重した養育の為に小舎制として、平野・具同ホームと共に整備し、0才児からの対応、児童家庭支援センター設立、更にアフターケア事業開始など県西部での子育て支援の中心的役割を果たすにいたりました。

創立55年記念事業の継続的研修事業を発端として発足した、郷土の偉人「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」を通して、今後の活動で音次郎のふるさと四万十から「保育のまち」構想を発信する礎を築くことができました。

若草園設立が、戦後の貧困と戦災孤児救済が発発点であった事を考える時、今日の貧富の格差の広まりを危惧するとともに、反戦、平和の社会づくりを通して子どもの笑顔輝く社会を目ざしてまいります。

### 育児相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ

でんわ (0880)

33-0258

24時間

365日無料

役員紹介

理事長



小椋茂昭 (おくら しげあき)

理事



佐田政美 (さだ まさみ)

理事



平岡和好 (ひらおか かずよし)

理事



三好琴喜 (みよし ことき)

理事



黒岩将 (くろいわ まさる)

理事



山崎育代 (やまさき いくよ)

理事  
(新任)



本田三津代 (ほんだ みつよ)

常務理事  
施設長



福留久美 (ふくどめ くみ)

監事



山沖優子 (やまおき ゆうこ)

監事



山本博昭 (やまもと ひろあき)

児童養護施設「若草園」と児童家庭支援センター「わかくさ」、退所児等アフターケア事業「あおば」の運営母体である社会福祉法人栄光会の役員をご紹介します。

5.30 若草園ガーデンパーティー  
ちょうど雨の合間のお天気に恵まれて総勢 337 人のひとりでにぎわいました。



今年は土佐中村一條太鼓、ケーナ演奏のポニータ、オカリナ演奏のパロミータに加えてハイクラソーナ・ウィンド・アンサンブルも来て下さり、盛り上げて下さいました。



ガーデンパーティーの最後はおなじみお菓子なげ。いつもお菓子を寄付して下さいている企業様には感謝いたします。



普段の夕食  
もうちょっとだから待ってね!



4.11 サザエさん展にご招待  
高知さんさんテレビさんのご厚意により、ホーム毎に遊びに行きました。



花沢不動産の分譲地には1軒100円で家を建てられます。この売り上げは震災の募金になるそうです。



わんぱく高知  
いろいろな動物ともふれ合いました。人間のオリの看板には「自然破壊や核兵器で戦争もする地球上で最も危険な動物」と書かれておりました。



役員顔ぶれ

社会福祉法人栄光会が1996年(平成8年)に設立されてまもなく20年となります。役員は地域の学識経験者、地域の福祉関係者などによって構成されております。

今年3月、若草園の子ども達が通っている下田小学校の元校長であられた山崎祥正理事が11年間にわたって務めて下さった理事を退任されました。山崎さんは引き続き、若草園を支える会の会長を引き受けて下さっております。また、5月に発足した「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」の会長にも就任して下さい、これからも若草園とは深くかわり続けて下さい。

その後任には、元幡多児童相談所職員であられた本田三津代さんが新任理事として就任して下さいました。

また、苦情解決第三者委員は厚生労働省の関係当局からの通知により設置が義務づけられている制度です。福祉サービスの質的向上のために相談員として下記の方々にご協力をいただいております。これからも地域と共に歩み、育まれる若草園となりますよう、よろしくお願いたします。



作文コーナー

児童が学校で書いた作文を紹介します。

いの中のかわず

今日は陸上記録会。ぼくは走るのあまり得意じゃない。今日走る種目は千メートルと六十メートルハードル。特に頑張りたいのは千メートルだ。「本当にできる?」下田小で速いからって満足したらいかんで。」と、先生に言われていた。でもぼくはけっこう速いし、最後にはならんろうと思っていた。やっと千メートルの番が来た。「バンツ」

と、いう音とともにスタートした。後ろからどんだん人がきた。結果は最下位だった。ぼくは「いの中のかわず」だと思った。でもこれからも、長きよりの練習を続けたい。

この作文は「高知県こども詩集やまもも第39集」に掲載されました。

◇若草園を支える会

- 会長 山崎祥正
- 副会長 浜口貞雄
- 〃 三好琴喜
- 〃 野地ちえみ
- 〃 池 啓司
- 〃 林 博
- 監事 乾 梢
- 〃 石井裕美
- 事務局 瀬戸雅弘 (若草園職員)
- 会計 増田幸一 (〃)

◇苦情解決第三者委員

<p>相談員</p> <p>矢野川研 (やのがわ けん)</p>	<p>相談員</p> <p>乾梢 (いぬい すすえ)</p>	<p>相談員</p> <p>森田智枝 (もりた ちえ)</p>	<p>山崎祥正 (やまさき よしまさ)</p>
----------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------





# 平成26年度 (H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31) ご寄付一覧表



皆様に心から感謝申し上げます。

< 50音順・敬称略 >

## \*寄付金

一色美佳  
 エヌハンデル(有) 竹本浩子  
 小谷佳子(7回)  
 小谷他  
 片山幸一(2回)  
 勝瀬防災  
 カラオケ喫茶蓄音機  
 カラオケ友の会・清流  
 共同募金会  
 黒岩将  
 高知ペンテコステ教会  
 小松道明  
 佐々木整形外科(6回)  
 さたけ小児科  
 佐竹順子  
 佐竹敬  
 佐竹和平  
 四国岩谷産業  
 下田小学校  
 (社福)聖音会 理事長 小原勉  
 竹島ミニバスケットボール  
 田中則明  
 陶アトリエねねむ 橋村るみ  
 土岐博彦・美咲  
 匿名  
 戸田隆造・美鈴

西村和子  
 ハイクラソーナ・ウィンド・アンサンブル  
 パチコドットコム  
 藤原啓正(2回)  
 プロジェクトホンダ  
 松倉建設  
 宮本匡士  
 三好琴喜  
 百田弘  
 山崎琴一  
 山崎祥正  
 山本康代  
 ⇒ 38人 51口 ¥1,041,009

## \*寄付物品

青木浩  
 足摺農園  
 安納スイーツファーム農業生産法人  
 魚富(2回)  
 エヌハンデル(有) 竹本浩子  
 遠藤健二  
 大島(匿名)  
 小椋茂昭  
 小野川和世  
 (財)高知県職員互助会  
 佐竹重幸  
 島田歯科  
 曾根商店(5回)

竹本範彦  
 谷岡生子  
 つがるにしきた農業協同組合(2回)  
 テスタ(匿名)  
 テスタ2号(匿名)  
 寺田祐子  
 (株)電通 三井修一  
 匿名  
 とんぼ薬局 豊島幸枝  
 パチンコホームラン(5回)  
 濱崎一途(路上詩人はまじ)  
 東さおり  
 フジグラン四万十店

百田弘  
 山下整形  
 ゆうちょ  
 楽天  
 ⇒ 30人 40口 時価総額 ¥294,100

## \*ボランティア

高知保護観察所  
 →機関誌発送作業  
 四万十市教育委員会 A L T  
 →英会話交流  
 (株)日本公文教育研究会  
 →公文教室運営指導  
 矢野川研  
 →児童学習指導

▶次号よりこのコーナーは半年ごとに報告させていただきます。



## 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 設立

5月10日(日)午後、四万十市立中央公民館大ホールにて『保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会』(通称:音次郎会)が発足しました。この日は佐竹音次郎の生誕151年にあたり、設立総会に引き続いて記念講演会が開催され、88名の参加がありました。

講演には、音次郎の地元・竹島小学校校長在任時代に音次郎に出会い、その生き様に感銘を受けられた中平菊美先生が「佐竹音次郎との出会い、そしてこれから」と題してお話をしてくださいました。人のために尽くしたその生き方を、少しでも見做いつつ、またそれを伝えていきたいというお話でした。

音次郎会へのお問合せはこちらまでお願いいたします。

◇ホームページ: [www.otojiro.link](http://www.otojiro.link)

◇電子メール: [info@otojiro.link](mailto:info@otojiro.link)

## 編集後記



先日、宿毛文教センターにて「0才からのジャズコンサート」という催し物が開催される事を知った。音次郎会の準備に奔走しているさなか、たまたまポスターを見かけたのだった。ジャズピアニストのクニ三上さんによる本格ジャズであるが、そのコンセプトは「子どもがいるからコンサートに行かれないお母さんに楽しんでほしい」というもの。▼音次郎が児童養護施設を設立するきっかけとなったエピソードは、彼が医者の時、入院する母に「子どもが居るから治療に専念できない」と相談され、「それならば、子どもさんも預かりましょう」という事から鎌倉保育園へと発展した。▼子どもが小さい頃のお母さんの大変さは経験した者でなければ理解できない。核家族化や無縁社会化により、古き良き時代のように近所のおばちゃん、通りがかりのおばちゃんに手助けしてもらえらることも少なくなった。▼社会のやさしさについて、この続きは音次郎会で共に考えていきたい。(せと)

